

## 京都の新進若手アーティストの登竜門！

### ～「Kyoto Art for Tomorrow 2026 -京都府新鋭選抜展-」受賞者決定～

- 京都府が主催する、京都で新しい芸術の創造に取り組む新進の若手作家を紹介する展覧会「Kyoto Art for Tomorrow 2026 -京都府新鋭選抜展-」の受賞作品が決定しましたのでお知らせします。
- 1月9日には、京都文化博物館で授賞式及び内覧会を開催しますので、当日の取材をお願いします。

#### 1. 各賞受賞作品・受賞者一覧

最優秀賞 1点【賞状、副賞金50万円】

賞名	氏 作 品 名	住所地 (都道府県)
最優秀賞	山下 茜里（やました あかり） 「ULTRA PLINIAN」	兵庫県

優秀賞 1点【賞状、副賞金10万円】

賞名	氏 作 品 名	住所地 (都道府県)
優秀賞	松元 悠（まつもと はるか） 「イメージのあなた」	滋賀県

メディア賞 7点【賞状】

賞名	氏 作 品 名	住所地 (都道府県)
京都新聞賞	奥野 久美子（おくの くみこ） 「共食の残像」	兵庫県
朝日新聞社賞	吾郷 佳奈（あごう かな） 「Ego Portrait」	京都府
毎日新聞社賞	高橋 弦希（たかはし げんき） 「ガラスと0mmで接しているタワー（を見上げている）」	京都府
読売新聞社賞	さかい はるか 「息づく星」	大阪府
産経新聞社賞	森田 志宝（もりた しほ） 「漆束 -Urushi Bundle-」	石川県
日本経済新聞社 京都支社賞	赤松 加奈（あかまつ かな） 「夏のあさ、鶴の声」	奈良県
NHK 京都放送局賞	三木 梨々花（みき りりか） 「つまづき注意」	京都府

国際賞 2点【賞状】

賞名	氏 作 品 名	住所地 (都道府県)
関西日仏学館賞	高橋 弦希（たかはし げんき） 「ガラスと0mmで接しているタワー（を見上げている）」	京都府
ゲーテ・インスティトゥート ・ヴィラ鴨川国際交流賞	ベーハイム 雪絵 ラオレンティア (ベーはいむ ゆきえ らおれんていあ) 「あおいかぜ」	京都府

※京都に主たる創作活動の本拠を置く40歳以下の作家が出品

(次頁あり)

## 2. 最優秀賞及び優秀賞 受賞作品

【最優秀賞／山下 茜里 「ULTRA PLINIAN」】



ろう染めの技法を用いた立体作品であり、工芸的な手法を積極的に造形に取り入れている点が魅力となっている。身体のパーツが組み合わされ、あえて整った形ではない、どろりとした生々しさを表現しており興味深い。今回のサイズ制限の中でも、それを感じさせない豊かな造形感覚を作家は備えている。会場内でも特に記憶に残る作品であり、人の心を掴む得体のしれないパワーを放っている。また、その表現には鶴岡政男や斎光らに通じる、戦後美術のスピリットを継承する姿勢も感じられ、高く評価できる。

【優秀賞／松元 悠 「イメージのあなた」】



作者は数々の事件に取材し、その場で感じたことを描く一方、丹念なりサーチを行う法廷画家としての側面も持っている。痛ましい事件を題材とし、当事者の姿を自らの顔（自画像）に置き換える手法には、当事者の痛みを自らのものとして背負いながら描く姿勢が伝わってくる。今回はステートメント的要素がほとんど見られないものの、背景を知らずとも、リトグラフにおける一見リアルに見えながらも実際には写実でない描写や、視点の曖昧さなどにより、作品全体に不穏さが漂う。銅版の繊細な線描も、法廷の情景を描くのに適しており、これまでにない版画表現を切り開こうとする意欲が感じられる。

## 3. 授賞式・内覧会

(1) 日 程 令和8年1月9日（金）15時～17時（受付開始14時30分）

※ご来場の際は名刺を4階受付にご提示ください。プレス証をお渡しします。

(2) 会 場 京都文化博物館 4階展示室 他（京都市中京区三条高倉）

(3) 内 容 15時00分～15時30分 授賞式（4階展示室）

15時45分～16時30分 受賞作品案内（4階展示室）

16時30分～17時00分 特別出品作家 作品案内（別館ホール）

【展覧会概要】 「Kyoto Art for Tomorrow 2026 ～京都府新鋭選抜展～」

会 期 令和8年1月10日（土）～令和8年1月25日（日）

会 場 京都文化博物館4階展示室、別館ホール（京都市中京区三条高倉）

内 容 京都ゆかりの40歳以下の美術作家40名の初公開作品40点を展示

特別出品作家として小宮太郎氏（前年度最優秀賞受賞者）が出品

入場料 一般 500円／大学生 400円／高校生以下無料

公式ページ [https://www.bunpaku.or.jp/exhi\\_special\\_post/20260110-0125/](https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special_post/20260110-0125/)

※事前申込は不要、別館は入場料無料。

京都文化博物館ホームページ



## 【本報道発表に関するお問合せ】

文化生活部文化芸術課 課長 松村 電話 075-414-4216

まゆる



# 京都府新銳選抜展

2026 1/10 - 25  
sat sun



“幽霊の足”を思い起こすためのスチル写真 【特別展示】小宮太郎「半透明なポートレイト 一幽霊の足(を描く)、嘘の花(を見つめる)」 Photo by Kenryou Gu

**出品作家** | 赤松加奈、吾郷佳奈、家山美祈、池田聰子、伊藤真生、岩田智代、上田佳奈、植田吏、大角ユウタ、奥野久美子、川端青令、北澤観世、熊田悠夢、さかいはるか、佐藤真優、佐俣和木、下村悠天、白井聰子、鈴木大晴、高橋弦希、橘葉月、田中克典、辻大輝、どばしほのか、西久松綾、濱口佳代、林葵衣、肥後亮祐、船越愛菜、府玻杏、ペーハイム雪絵 ラオレンティア、松元悠、的野哲子、三木梨々花、水野智鶴、森田志宝、山下茜里、山羽春季、山本真実江、吉田茉希子（五十音順）

**会場** | 4階展示室 **開室時間** | 10:00～18:00 (金曜日は19:30まで) ※入場はそれぞれ30分前まで **休館日** | 1月13日(火)、19日(月)

**入場料** | 一般500円(400円)、大学生400円(320円)、高校生以下無料 ※( )内は団体(20名以上)の料金 ※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。

※障がい者手帳などご提示の方と付き添い1名までは無料 ※上記料金で3階フィルムシアターもご観いただけます。(ただし、催事により有料の場合があります。)

**主催** | 京都府、京都文化博物館 **後援** | 経済産業省、文化庁、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、

日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、

在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

特別展示 | 小宮太郎「半透明なポートレイト 一幽霊の足(を描く)、嘘の花(を見つめる)」

会場 | 京都文化博物館 別館ホール **会期** | 2026年1月10日(土)～1月25日(日) 10:00～19:30 [入場無料]



京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

# 京都府新銳選抜展

KYOTO ART FESTIVAL 2026

本展は、京都を中心に活動する新進の若手作家を紹介し、次世代を担う作家として京都から世界へ発信していくことを目的に開催します。美術系大学、画廊、美術館学芸員等からの推薦を受けた若手作家の中から、選考委員により選抜された作家40名の作品を展示いたします。京都ゆかりの新進作家たちとともに、前年度選抜展の最優秀賞受賞者である小宮太郎氏をお招きし、別館ホールにて特別展示を行います。「みえる/みえないこと・もの」のあり方を問い合わせ続ける小宮氏の制作を通して、会場の「別館ホール」が、移り行く時間と人の営みを包含した多層的な空間として立ち現れてくることでしょう。

新しい芸術の創造に取り組む京都の作家たちの意欲的な実践にご期待ください。

**出品作家** | 赤松加奈、吾郷佳奈、家山美祈、池田聰子、伊藤真生、岩田智代、上田佳奈、植田吏、大角ユウタ、奥野久美子、川端青令、北澤觀世、熊田悠夢、さかいはるか、佐藤真優、佐保和木、下村悠天、白井聰子、鈴木大晴、高橋弦希、橘葉月、田中克典、辻大輝、どばしほのか、西久松綾、濱口佳代、林葵衣、肥後亮祐、船越愛菜、府玻杏、ペーハイム 雪絵 ラオレンティア、松元悠、的野哲子、三木梨々花、水野智鶴、森田志宝、山下茜里、山羽春季、山本真実江、吉田美希子 (五十音順)

**選考委員・審査委員** | 後藤結美子 (京都市京セラ美術館 学芸課 学芸係長)、島敦彦 (国立国際美術館 館長)、平芳幸浩 (京都工芸織維大学 教授、美術工芸資料館長)、福永治 (京都国立近代美術館 館長)、吉岡恵美子 (京都精華大学 教授) (五十音順)

**【特別展示】** 小宮太郎「半透明なポートレイト 一幽靈の足(を描く)、嘘の花(を見つめる)」

**入場無料**

会場=京都文化博物館 別館ホール 会期=2026年1月10日(土)~1月25日(日) 10:00~19:30



小宮太郎《少しだけ開いた扉》2024 マスキングテープ カモ井加工紙の食堂の壁  
Photo by Yuki MORIYA



**【特別展示作家】 小宮太郎 KOMIYA Taro**

1985年 神奈川県生まれ  
2016年 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻(博士)修了  
2021年 小宮太郎 & 菅雄嗣二人展「Mind Sights」(MAHO KUBOTA GALLERY/東京)  
Soft Territory かかわりのあわい(滋賀県立美術館)  
血の塩/Salt of the Blood (LEESAYA/東京)  
余の光/Light of My World (ALTERNATIVE KYOTO in 福知山/旧銀鈴ビル/京都)  
2022年 今村遼佑 & 小宮太郎二人展「五劫のすりきれ」(京都文化博物館)  
2023年 VOCA2023(上野の森美術館)  
小宮太郎 & 彦坂敏昭二人展「地面カルチャー」(VOU/京都)  
2024年 sanwacompany Art Award / Art in the House 2024 (サンワカンパニー/東京) グランプリ受賞  
メンバーのスponジ(Art & Design Center 名古屋芸術大学)  
個展「Virtual」(MAHO KUBOTA GALLERY/東京)  
Kyoto Art for Tomorrow 2025—京都府新銳選抜展—(京都文化博物館) 最優秀賞受賞  
2025年 Up\_03 (MtK Contemporary Art/京都)  
個展「肖像のフレーミングのための開帳制作室」(Art Center Ongoing/東京)



Photo by Yuki MORIYA

**【関連イベント】**

◎特別展示作家によるアーティスト・トーク

特別展示作家・小宮太郎氏に、制作活動および今回の展示内容について、お話ししていただきます。

日時=1月10日(土) 14:00~

会場=別館ホール

◎出品作家によるギャラリー・トーク

日時=1月11日(日)、1月24日(土)

両日とも14:00~

会場=4階展示室

※ともに事前申し込み不要。当日の入場者に限ります。

記載内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は博物館公式サイトをご覧ください。



【交通案内】

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩約3分
- 阪急「烏丸駅」下車、16番出口から高倉通を北へ徒歩約7分
- 京阪「三条駅」下車、6番出口から三条通を西へ徒歩約15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩約2分



京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp